

「平成26年度全国学力・学習状況調査」における

## 岬町の調査結果概要

平成26年10月

岬町教育委員会

## 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 2. 調査の名称及び実施日

『平成26年度全国学力・学習状況調査』 実施日：平成26年4月22日(火)

## 3. 調査の対象

小学校第6学年（137名）、 中学校第3学年（137名）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

小学校：国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

中学校：国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

#### 主として「知識」に関する問題

◇身につけておかなければ後の学年に影響を及ぼす内容

◇実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

#### 主として「活用」に関する問題

◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力

◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

#### 児童生徒に対するアンケート調査

◇ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

#### 学校に対するアンケート調査

◇指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

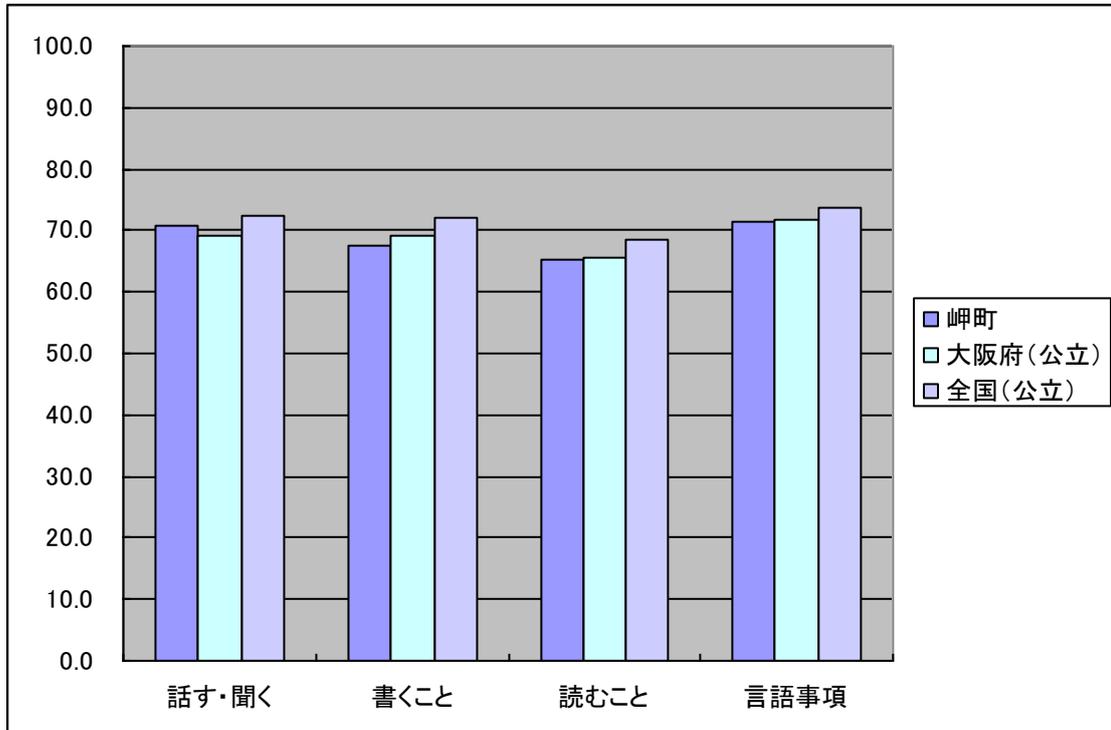
※ 本調査の結果は学力の一部です。

※ 参加児童生徒数は公立小学校 1,080,663 名・公立中学校 1,017,965 名です。

小学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で15問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

○「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化（言語事項）」については、70%以上の正答率であり、良好である。

○「書くこと」「読むこと」については、60%以上の正答率であり、概ね良好である。

◇A区分問題にみえる成果と課題

◎漢字を正しく「読む」「書く」ことについては、平均して79%の正答率があり、概ね良好である。

○仮定の表現として、適切なものを選択することについて、概ね良好である。

【例】このようなことに 、母の注意に耳を傾けていたらよかった。

(なるのであれば) (正答率 78.8%)

○国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解することについて、概ね良好である。

【例】運動をする機会の増加をハカル必要がある。この文のハカルを4つの中から選択する。(図る) (正答率 72.3%)

●故事成語の意味と使い方を理解することについて、課題は大きい。

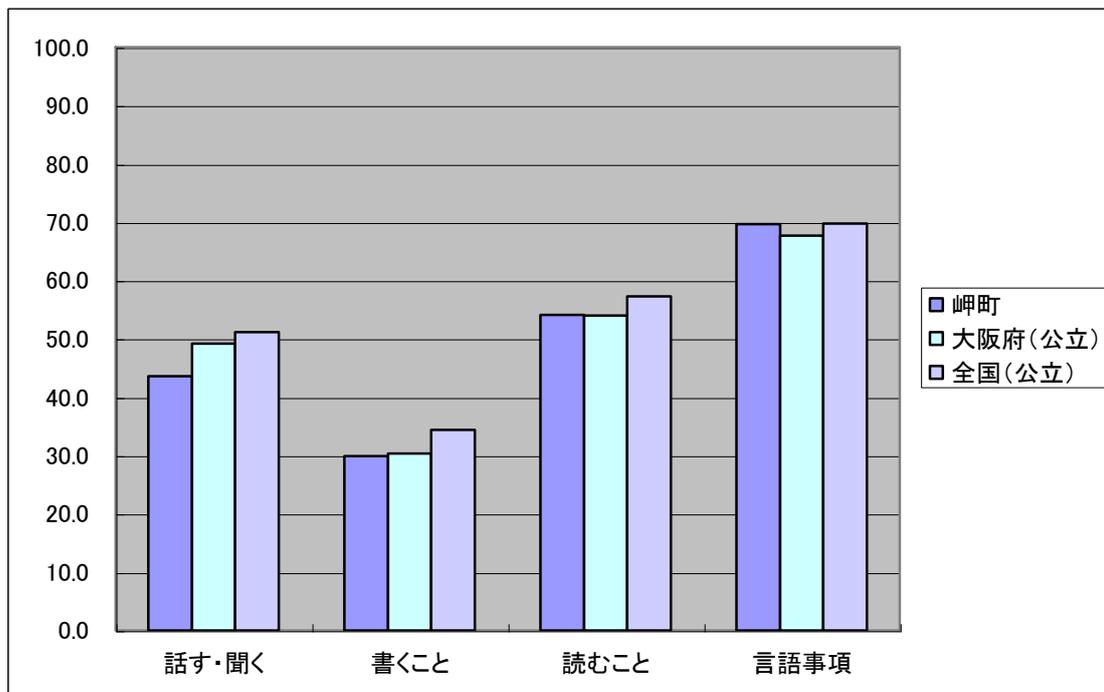
【例】「五十歩百歩」の使い方として適切なものを選ぶ。(正答率 59.1%)

【例】「百聞は一見にしかず」の使い方として適切なものを選ぶ。(正答率 44.5%)

小学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で10問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



- ◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶
- 「伝統的な言語文化(言語事項)」については、70%の正答率であり、良好である。
  - ★「読むこと」については、60%以下の正答率であり、やや課題がある。
  - 「話すこと・聞くこと」については、50%以下の正答率であり、課題がある。
  - ★「書くこと」については、30%の正答率であり、特に課題が大きい。

◇B区分問題にみえる成果と課題

○二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捕らえることについて、良好である。

【例】詩の表現の特徴として適切なものを選ぶ。(正答率 80.3%)

●自分の立場を明確にして、質問や意見を述べることについて、特に課題がある。

【例】選択した内容について2つの条件に合うように記述する。

(正答率 16.8%) (無回答率 8.0%)

●分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関連付けながらまとめて書くことについて、特に課題がある。(正答率 27.0%) (無回答率 11.7%)

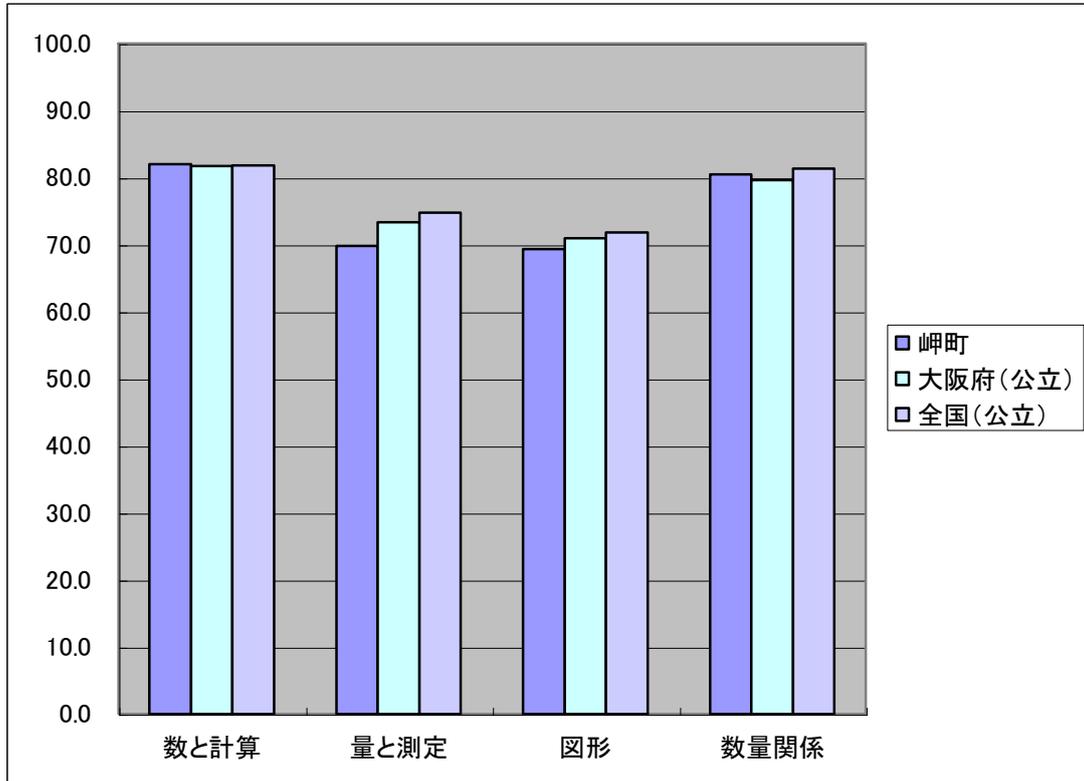
【例】資料を読み、指定された内容について3つの条件に合うように記述する。

★全体的に目的や意図に応じ、複数の内容を関連付けながら、必要な条件を守りながら適切に書き加えたり、適切に引用して書いたり、自分の考えを具体的に書いたりすることについて、課題は大きい。

小学校算数A

◇問題数等 算数Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で17問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

◎「数と計算」「数量関係」については、80%以上の正答率があり、特に良好である。  
 ★「量と測定」「図形」については、70%近い正答率であり概ね良好であるが、府や全国の平均と比較して下回っており課題もある。

◇A区分問題にみえる成果と課題

◎基礎・基本の計算力については、ほぼ80~90%以上の正答率であり良好である。

【例】 $46+57$ 、 $903\times 6$ 、 $2\div 5$ 、 $1/3+2/5$ 、 $9-0.8$

○割合における基準量と比較量の大きさの関係を理解していることについて、良好である。【例】500gの120%の重さは  です。(正答率80.9%)

★作図に用いられている図形の約束や性質を理解することについて、課題は大きい。

【例】コンパスを使った平行四辺形の書き方は、平行四辺形のどの特徴を使っているか選ぶ。(正答率43.1%(無回答率0.7%))

●単位量あたりの大きさの求め方を理解することについて、課題がある。

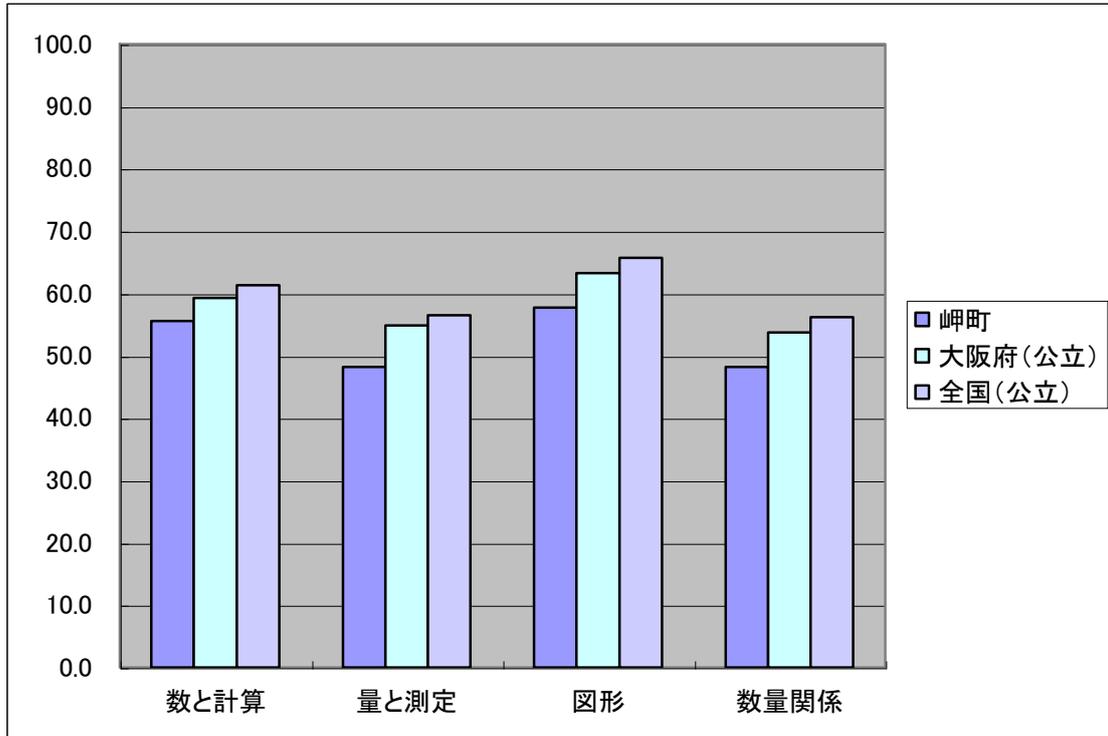
【例】 $8\text{ m}^2$ に16人いる部屋についての $1\text{ m}^2$ あたりの人数を求める式を書く。

(正答率57.7%)(無回答率4.4%)

小学校算数B

◇問題数等 算数Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で13問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

●「数と計算」「図形」については、60%以下の正答率であり、やや課題がある。

●「量と測定」「数量関係」については、50%以下の正答率であり、課題は大きい。

◇ B区分問題にみえる成果と課題

○ 計算の見通しをもち、2位数×1位数の筆算をすることについて、特に良好である。  
(正答率 91.2%)

○ 基準量と比較量と捉え、何倍かを求めることについて、良好である。

【例】1500 m<sup>3</sup>はプールに入る水の量 250 m<sup>3</sup>の何倍か。(正答率 78.8%)

● 情報を整理し、筋道を立てて考え、少数倍の長さの求め方を記述することについて、特に課題がある。

【例】身長を基に、条件にあった使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く。

(正答率 28.5%) (無回答率 12.4%)

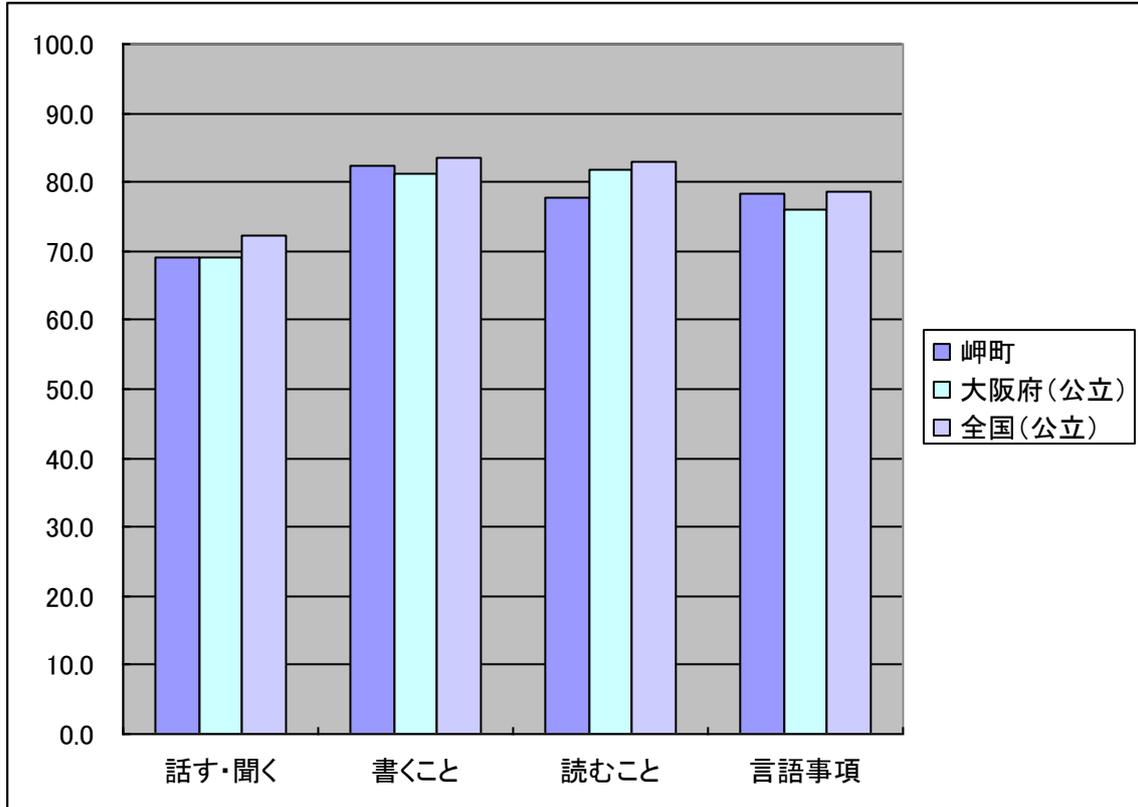
★ 単位量あたりを理解し、示された情報を基に必要な量と残りの量の大きさを判断し、その判断理由を言葉と数を用いて記述することについて、特に課題がある。

【例】指定された分け方でスープを分けたとき、全員にスープを分けることができるかどうかを選びその理由を書く。(正答率 19.0%) (無回答率 2.2%)

中学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で32問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶  
 ○「書くこと」については、80%以上の正答率であり、授業改善の成果が見られる。  
 ○「読むこと」「伝統的な言語文化（言語事項）」については、70%以上の正答率であり、良好である。  
 ◎「話すこと・聞くこと」については、60%以上の正答率であり、概ね良好である。

◇A区分問題にみえる成果と課題

◎漢字を正しく読むことについては、80~90%以上の正答率であり、特に良好である。  
 ◎適切な敬語を選択することについては、昨年と同様、特に良好である。

【例】お客様を案内するときに使用する最も適切なものを選ぶ。

お客様、私が校内を  。（ご案内します）（正答率 89.8%）

○集めた材料を分類するなどして整理することについて、特に良好である。

【例】「会長の言葉」「各委員会の取組み」等から、ウェブページ上では何の項目にすればよいかを選択する。（生徒会活動）（正答率 92.0%）

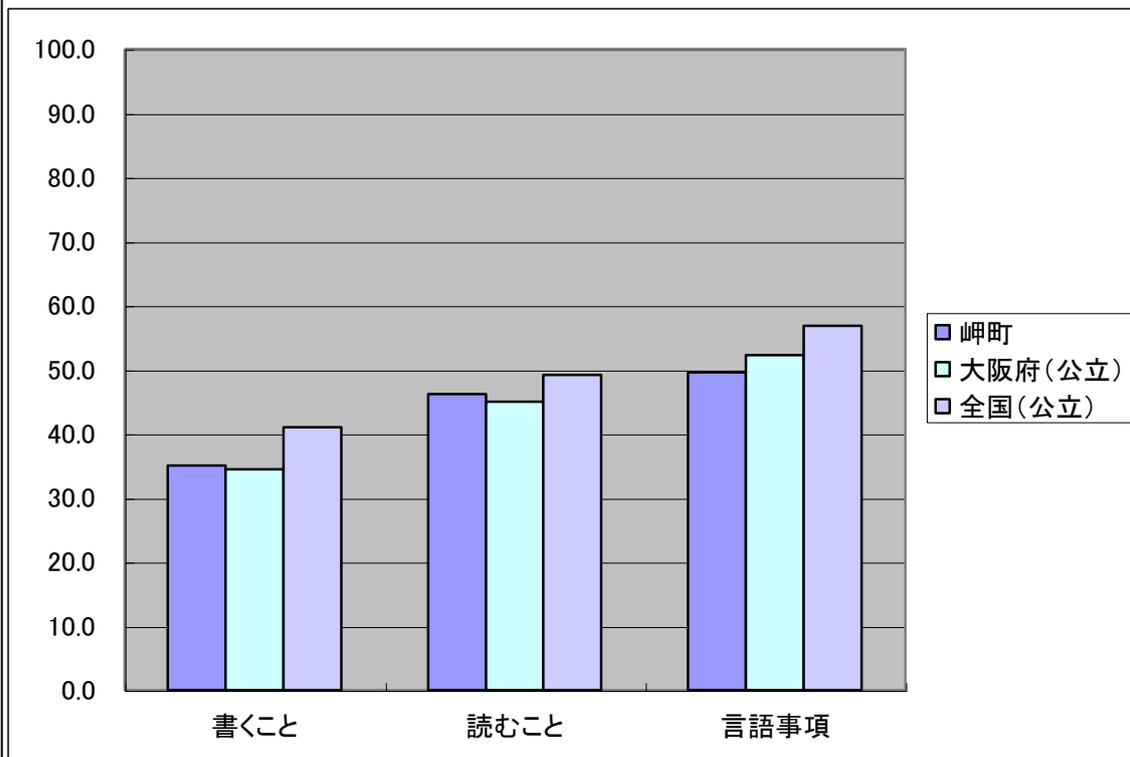
●辞書を活用し、語句の意味を適切に書くということについて、課題がある。

【例】『英気を養う』の英気についての意味を書く。（正答率 54.7%）

中学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で9問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別 (「話すこと・聞くこと」に関する出題なし)



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

●「読むこと」「伝統的な言語文化(言語事項)」については、50%以下の正答率で課題がある。

★「書くこと」については、40%以下の正答率であり、特に課題が大きい。

◇B区分問題にみえる成果と課題

○ 本や文章から目的の応じて必要な情報を読み取ることについては、概ね良好である。

【例】落語家が顔を向ける方向を上手・下手から選ぶ。(正答率63.5%)

●文章の構成や表現の仕方について自分の考えを、根拠を明確にして書くことについては、特に課題が大きい。(正答率34.3%)(無回答率5.8%)

【例】書きたいテーマを選び、3つの条件に合うように記述する。

★資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことについて、特に課題が大きい。(正答率27.0%)(無回答率15.3%)

【例】資料を読み、指定された内容について2つの条件に合うように記述する。

★複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることについて、特に課題が大きい。

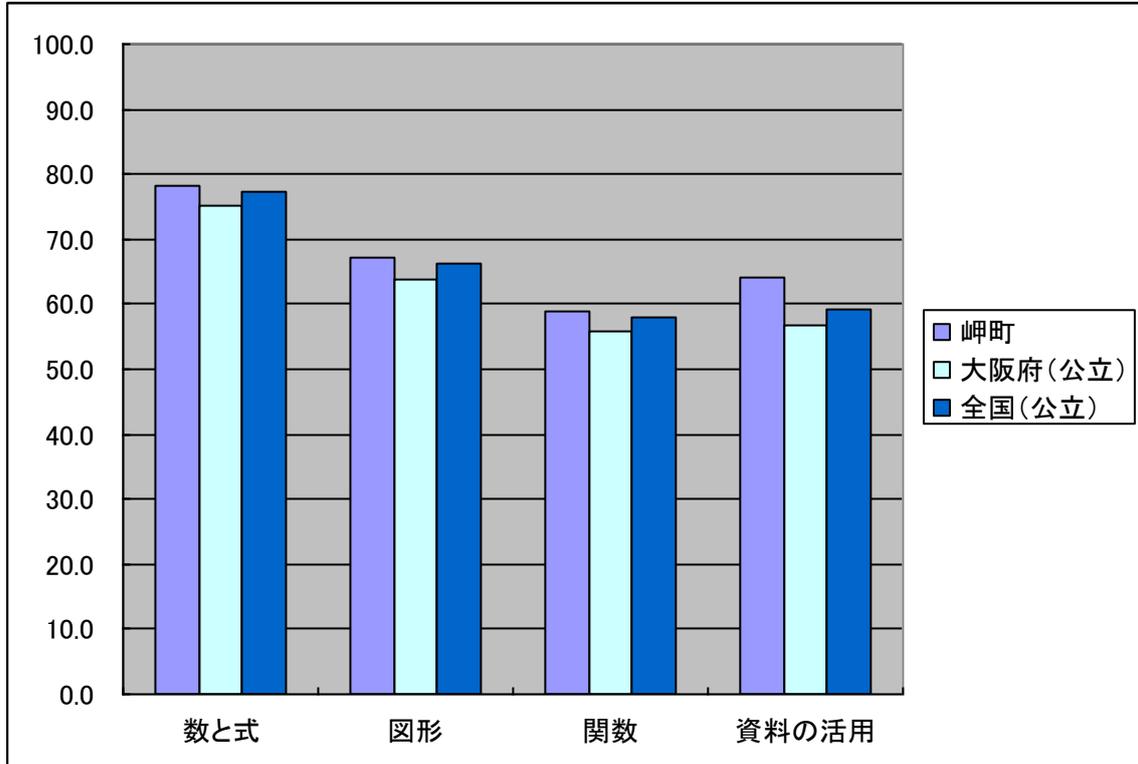
【例】本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選ぶ。

(正答率27.7%)(無回答率0.0%)

中学校数学A

◇問題数等 数学Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で36問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

- 「数と式」については、70%以上の正答率であり良好である。
- 「図形」「資料の活用」については、60%以上の正答率であり、概ね良好である。
- 「関数」については、60%以下の正答率であり、課題は大きい。

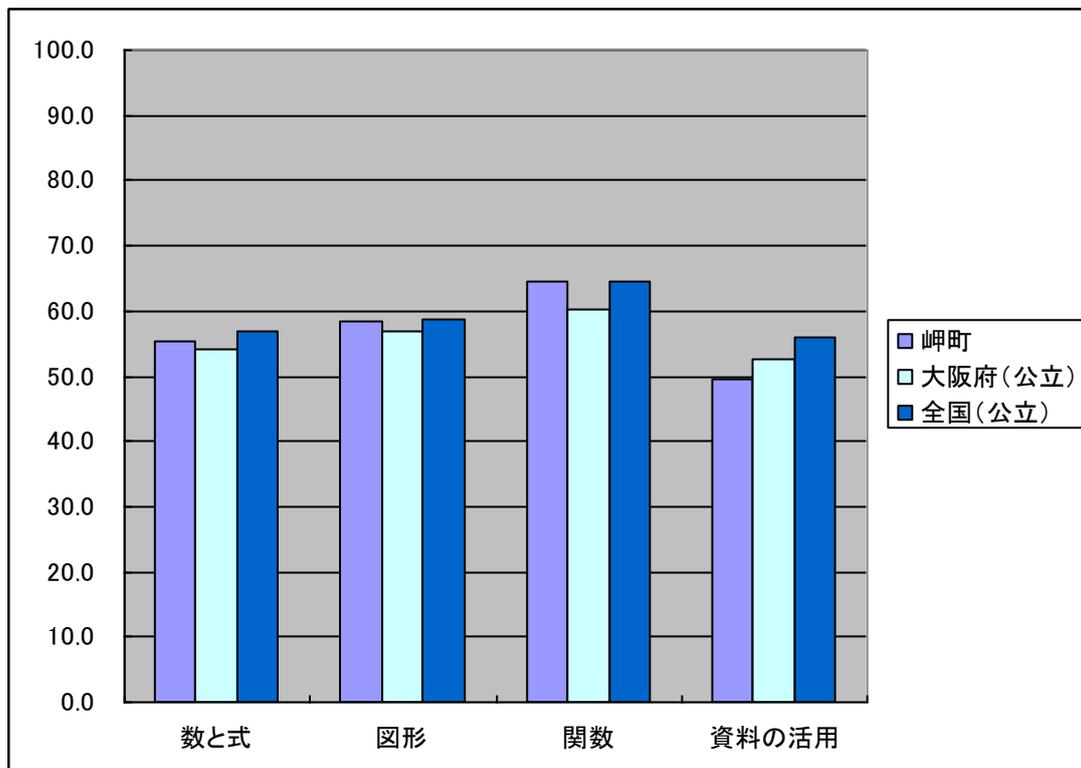
◇ A区分問題にみえる成果と課題

- ◎『分数の除法の計算』『単項式どうしの除法の計算』について、良好である。  
 【例】 $3/4 \div 5/6$  (正答率 85.4%)      【例】 $10xy \div 5x$  (正答率 94.2%)
- ◎線対称な図形を完成させることについて、特に良好である。(正答率 92.7%)
- 等式の性質と移項の関係を理解していることについて、良好である。(正答率 90.5%)  
 【例】 $0.4x - 0.3 = 0.9$  を解く際に、移項を用いている部分を選択肢から選ぶ。
- ★関数の意味を理解することについて、特に課題がある。(正答率 34.3%)  
 【例】 は  の関数である。 に言葉を入れる。
- 図形が回転移動した前後の辺や角の位置を読み取ることについて、特に課題がある。  
 【例】指定された角が回転移動した後の角を選ぶ。(正答率 34.3%)

中学校数学B

◇問題数等 数学Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で15問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

○全体的に昨年度と比べて正答率は上昇、無解答率は低下しており、学校での授業改善の取り組みの成果が見られる。

★「資料の活用」においては、確率を用いて考察表現することにおいて課題がある。

◇B区分問題にみえる成果と課題

◎表やグラフから必要な情報を選択し処理することは、特に良好である。

【例】人数が24人のときに6秒かかったこと表す点を求める。(正答率90.5%)

○空間における位置に関する情報を適切に読み取ることについて、特に良好である。

【例】見取り図と外観図を見比べて非常口の位置を選ぶ。(正答率95.6%)

★不確定な事象の起こりやすさの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的に説明することについて、特に課題は大きい。(正答率20.4%) (無回答率6.6%)

【例】指定された点数の取り方について、確率を用いて説明する。

●指定された条件の下で、証明の過程で見出した事柄や証明された事柄を用いることについて、特に課題は大きい。(正答率23.4%) (無回答率19.7%)

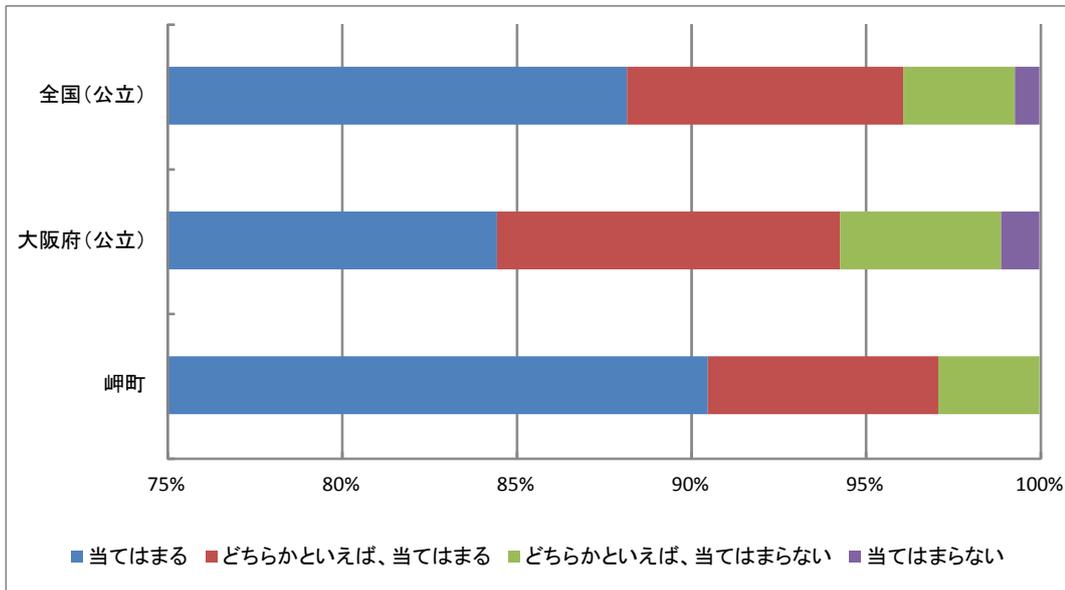
【例】 $\angle BAC=110^\circ$ 、 $BD=AD$  のとき、 $\angle DAE$  の大きさを求める。

# 岬町の子どもたちの生活の様子

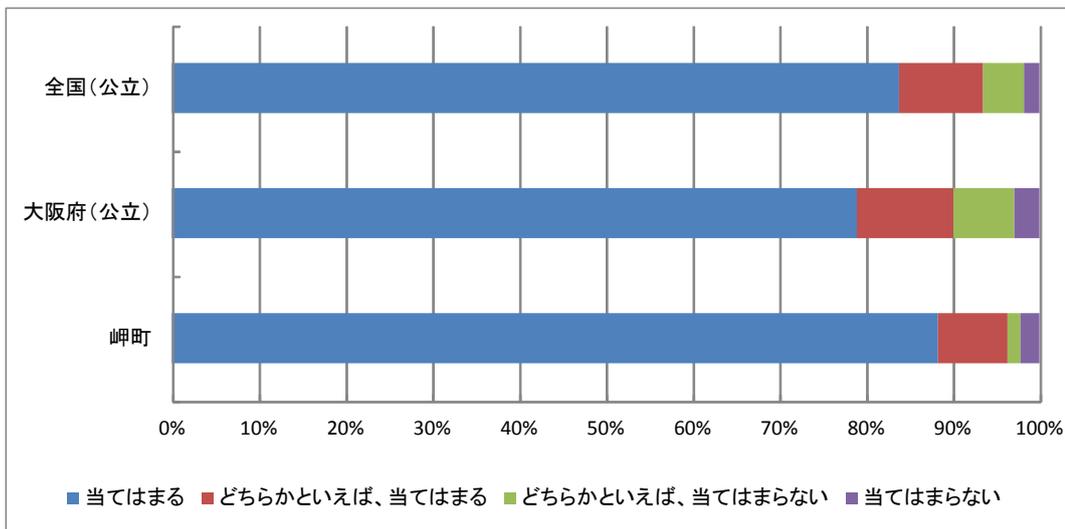
(小学校・中学校)

—児童・生徒質問紙より—

## 1, 朝ごはんを毎日食べていますか（小学校）

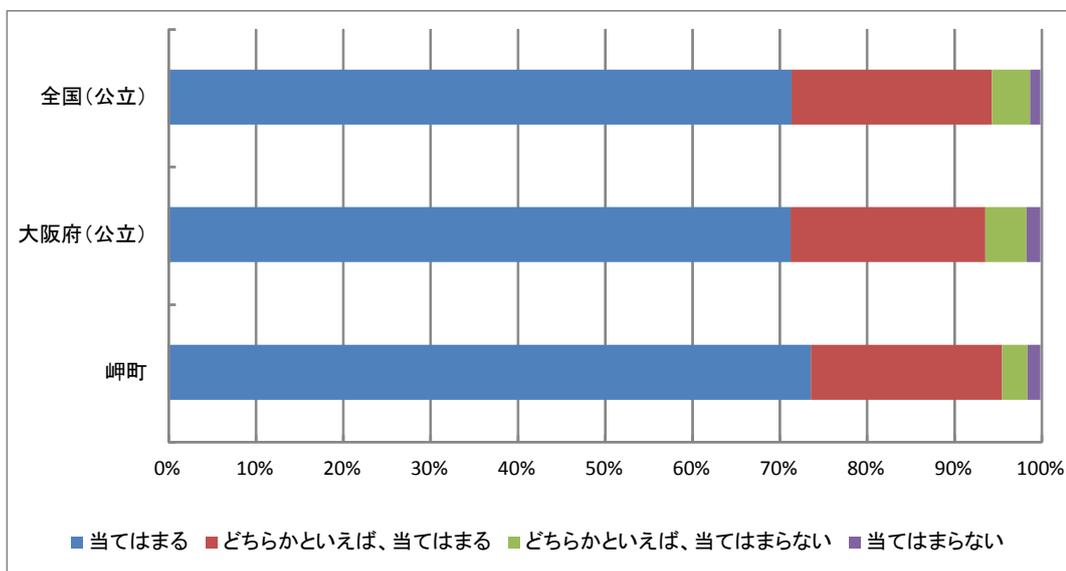


## 1, 朝ごはんを毎日食べていますか（中学校） 奨励支給

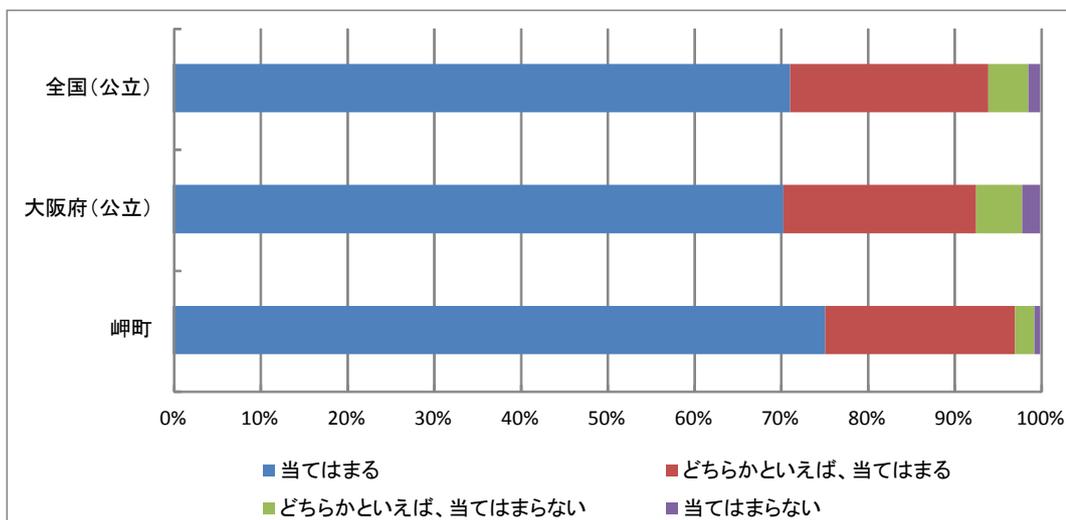


- ◎ 「している」「どちらかといえばしている」割合は、小中学校ともに90%を超えている。
- 「していない」「どちらかといえばしていない」の児童・生徒について、今後とも状況を把握し家庭に対して丁寧な働きかけを続けていく必要がある。

## 2, ものごとを最後までやり遂げて, うれしかったことがありますか（小学校）



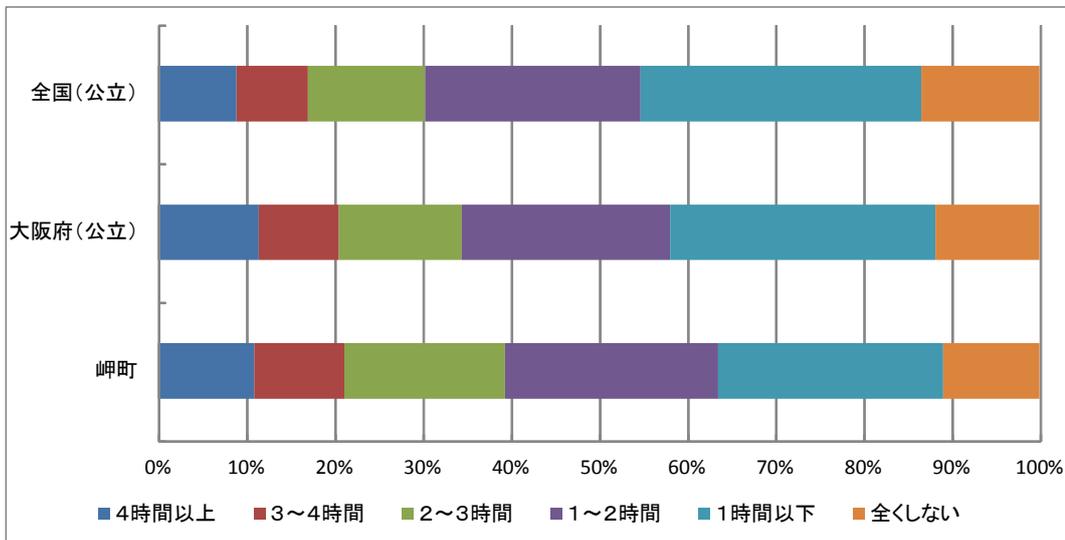
## 2, ものごとを最後までやり遂げて, うれしかったことがありますか（中学校）



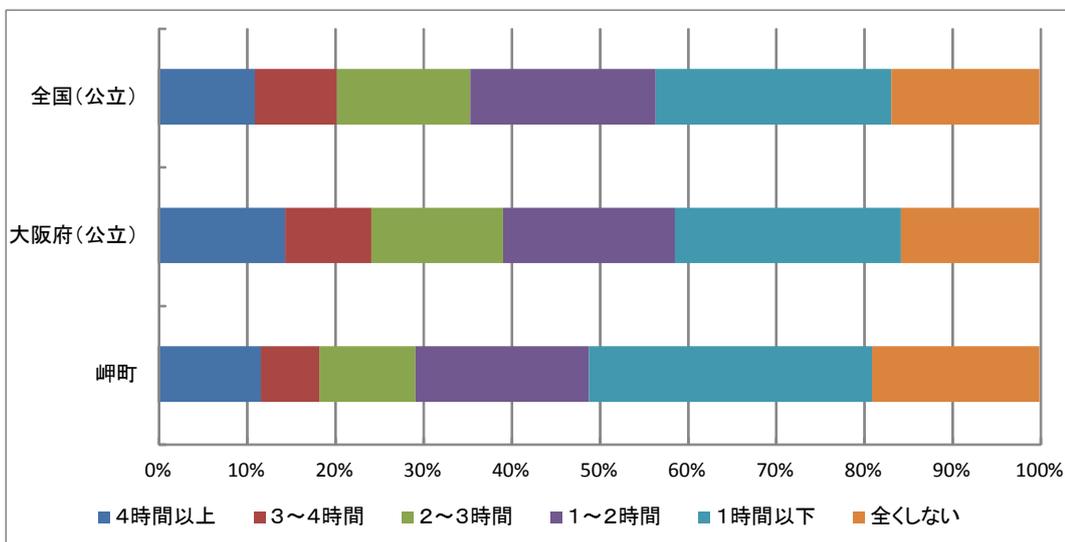
◎「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合は、小中学校ともに95%を超えている。

◎中学校では、昨年度と比較しても割合が上昇している。今後とも達成感を得られ、意欲がわいてくる取り組みを継続的に実施していく必要がある。

### 3, ふだん1日どれくらいの時間ゲーム（スマホ含）をしますか（小学校）

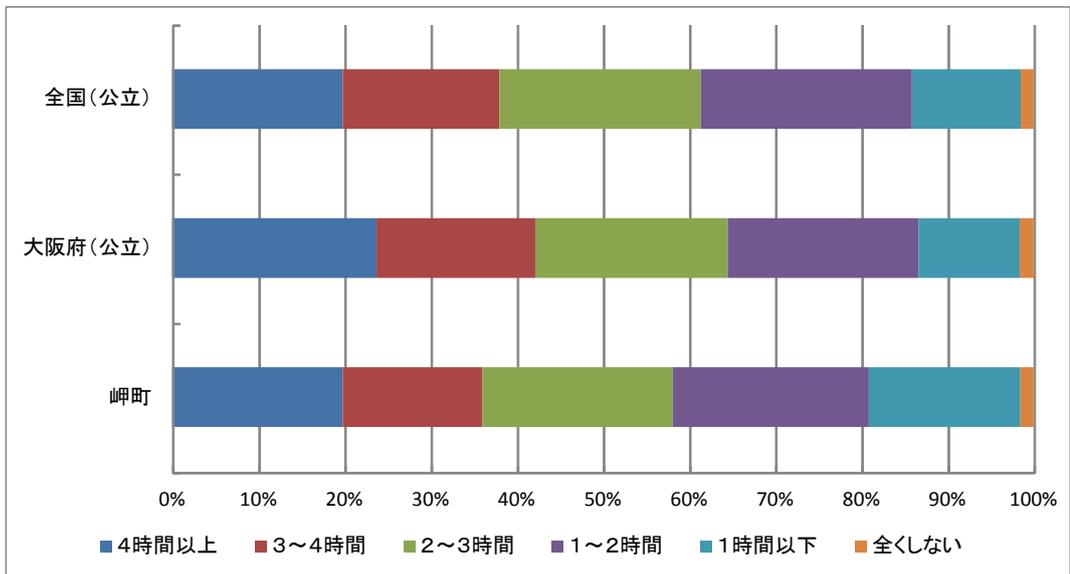


### 3, ふだん1日どれくらいの時間ゲーム（スマホ含）をしますか（中学校）

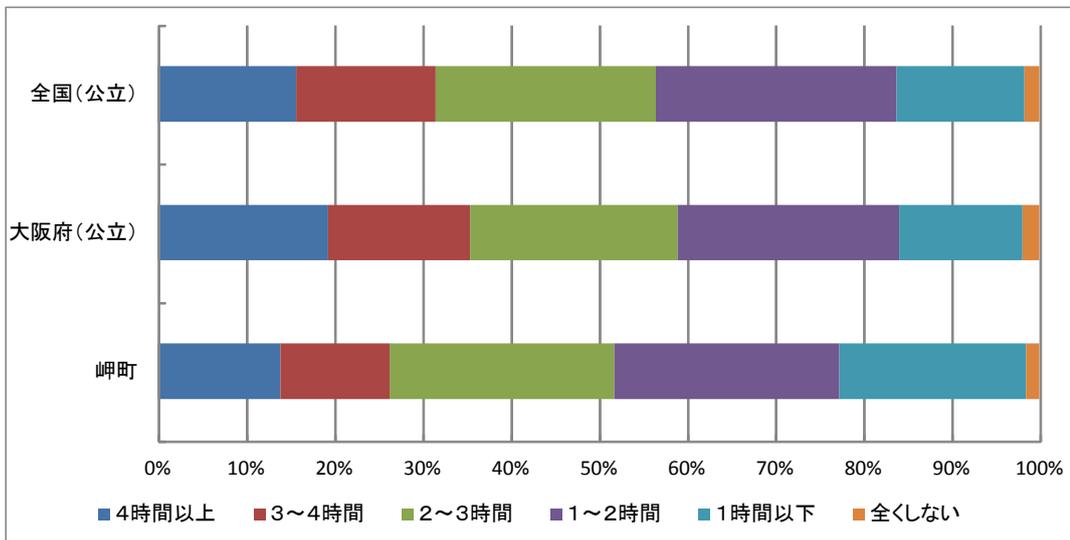


- 1時間以下と全くしない割合は、中学校において50%を超えており、府や全国の平均よりも高く、ゲームに依存している子どもが府や全国と比べてまだ少ない。
- 4時間以上ゲームをしている割合は、小学校では5%、中学校では7%程度増加している。引き続き家庭と連携しながら取り組みを進めていく。

#### 4、ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きしますか（小学校）



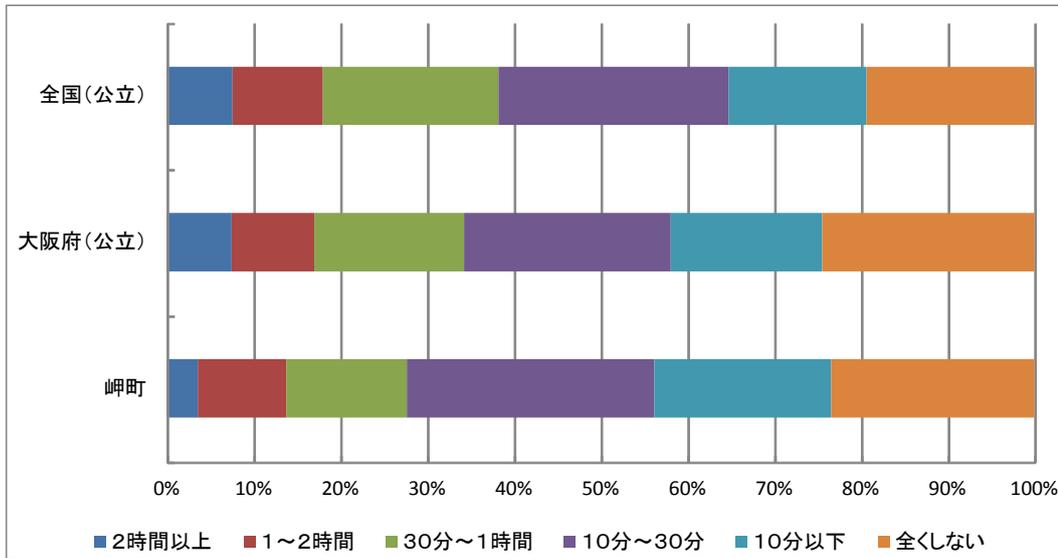
#### 4、ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きしますか（中学校）



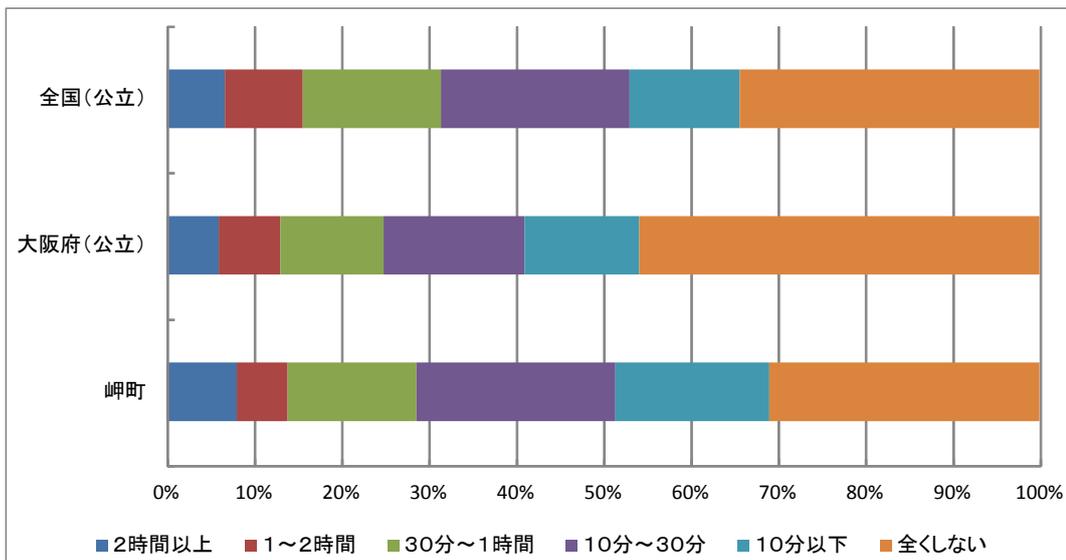
○前年度と比較して、2時間以上見たり聞いたりしている割合は、小学校では12.5%、中学校では9.4%減少している。

○1時間以下と全くしない割合は、府や全国の平均よりも高く、テレビに依存しない環境づくりについて、今後も家庭と連携しながら進めていく。

### 5, ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（小学校）



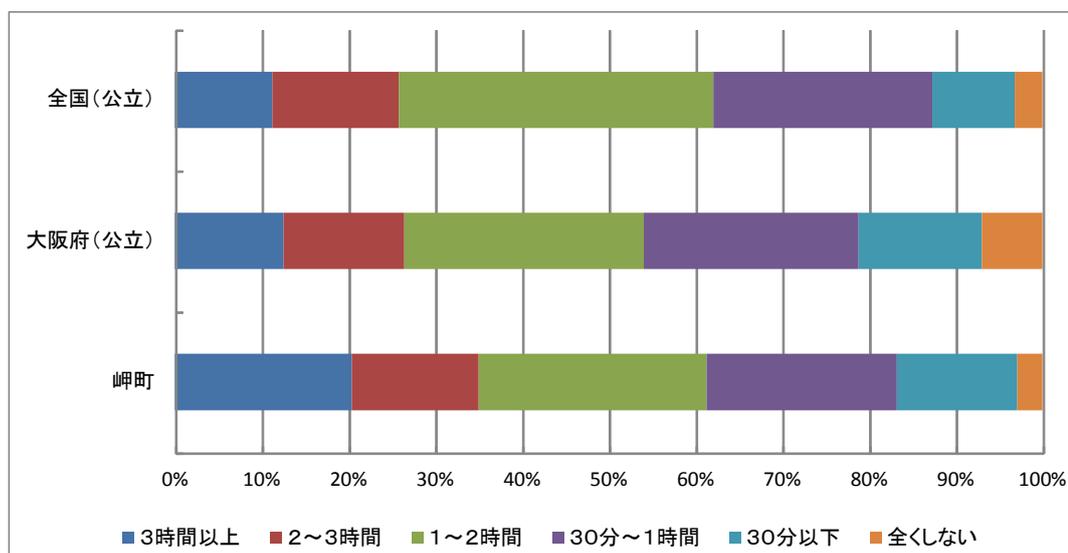
### 5, ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（中学校）



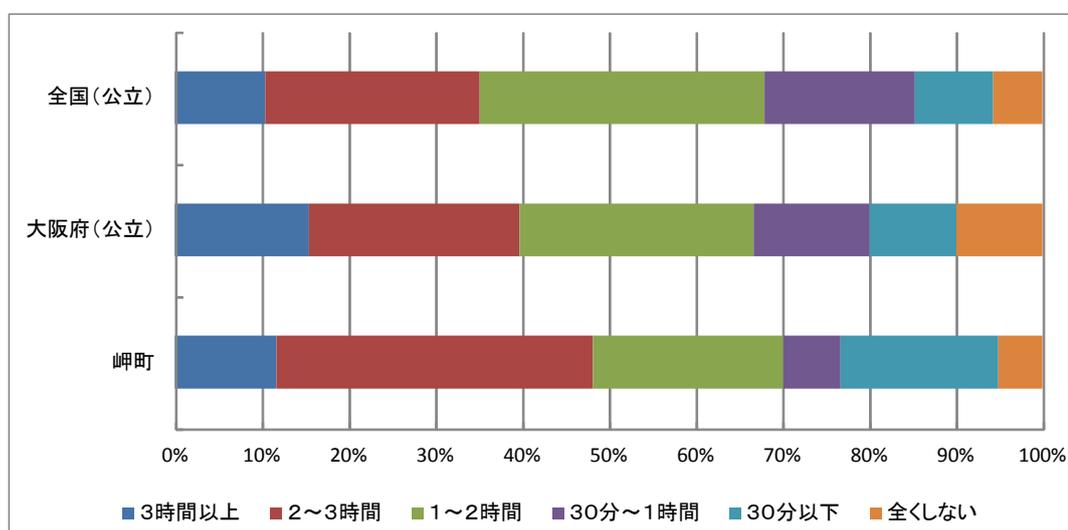
○中学校において、1日のうち30分以上読書している子どもの割合は、前年度と比較して3.4%増加し、やや回復傾向にある。

●小学校において、1日のうち30分以上読書している子どもの割合は、前年度と比較して9.8%減少し、各校における読書週間の確立が課題である。

6, 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）（小学校）



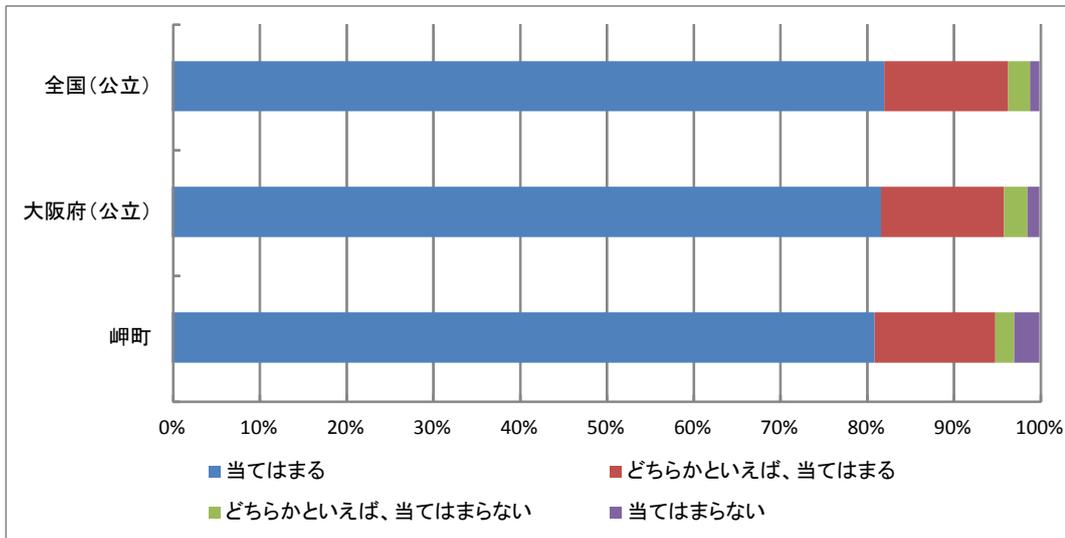
6, 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）（中学校）



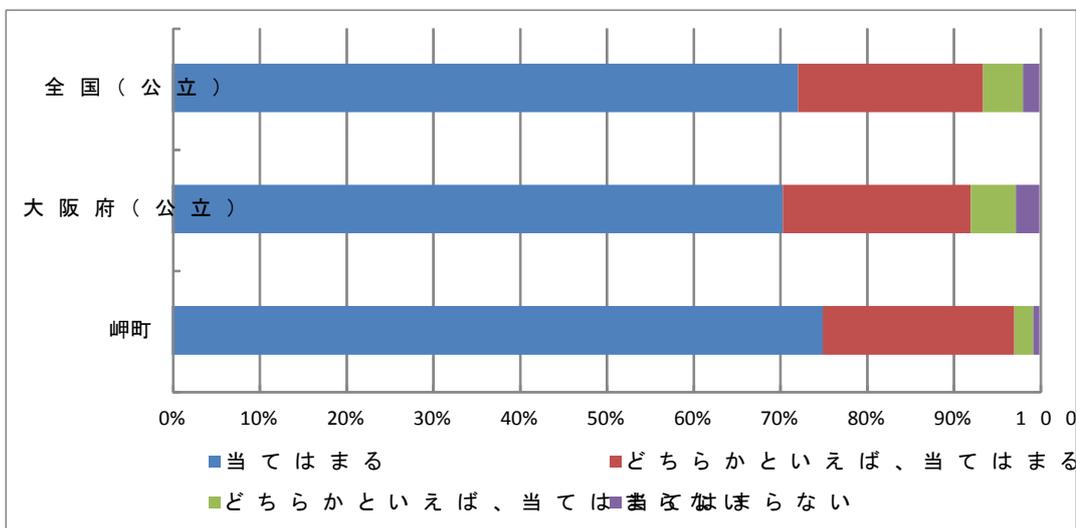
○前年度と比較して、2時間以上勉強している割合は、小学校では0.8%、中学校では3.2%増加している。

○前年度と比較して、小中学校の「全くしない」割合は減少し、学習習慣の確立について、今後とも取り組みを進める。

## 7, いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（小学校）

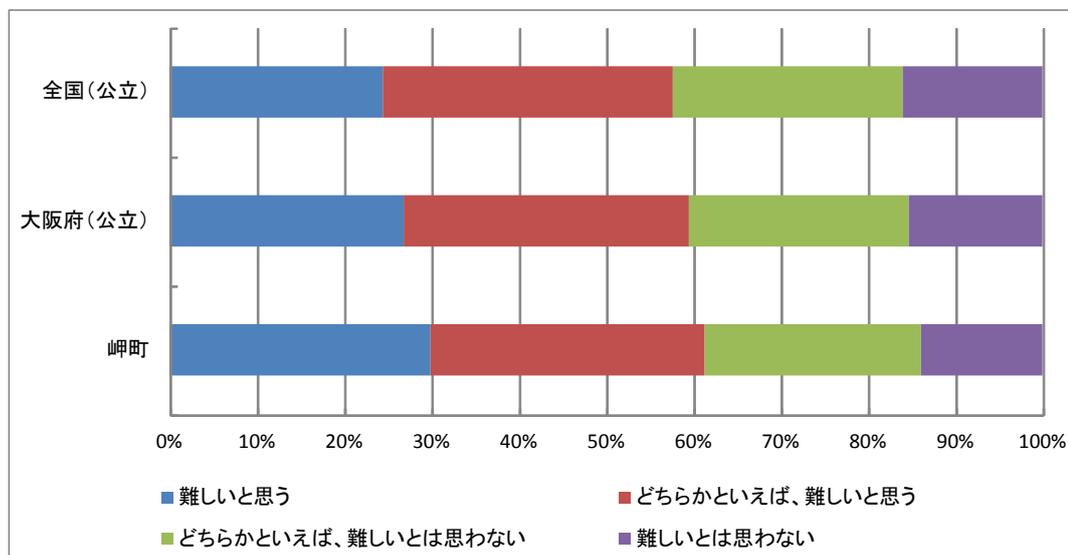


## 7, いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（中学校）

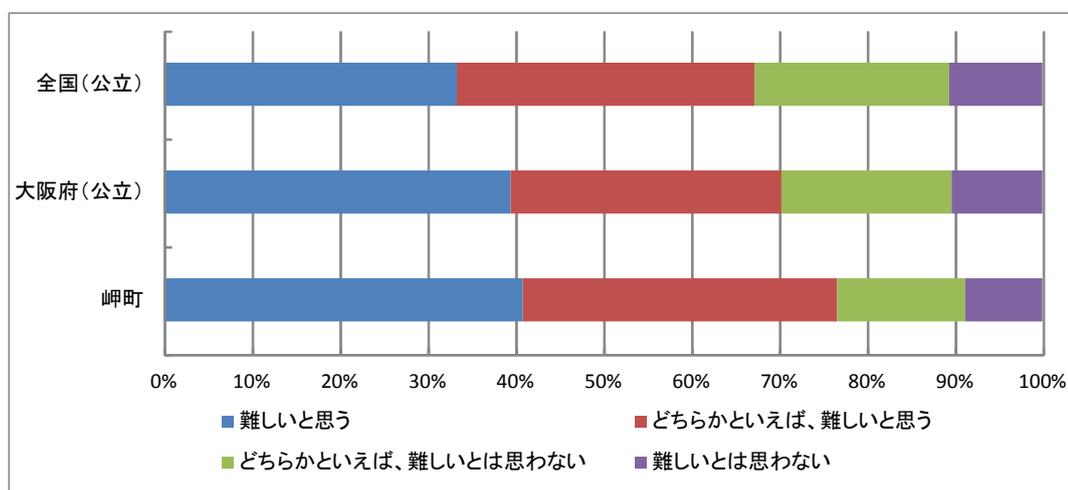


- 「当てはまる」割合は、中学校では74.5%であり、前年度と比較して11.3%増加しているが、いじめ問題を含む人権教育・道徳教育の取り組みを一層進めていく必要がある。
- 「当てはまる」割合は、小学校では81.0%であるが、昨年度よりも減少しており、各校においていじめ問題を含む人権教育・道徳教育の取り組みを一層進めていく必要がある。

8, 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか（小学校）



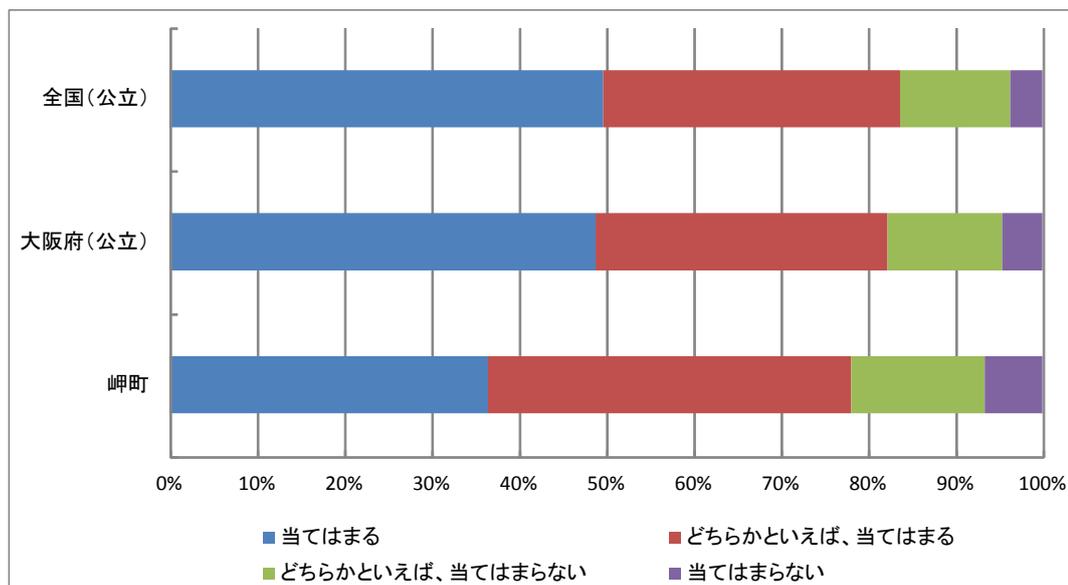
8, 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか（中学校）



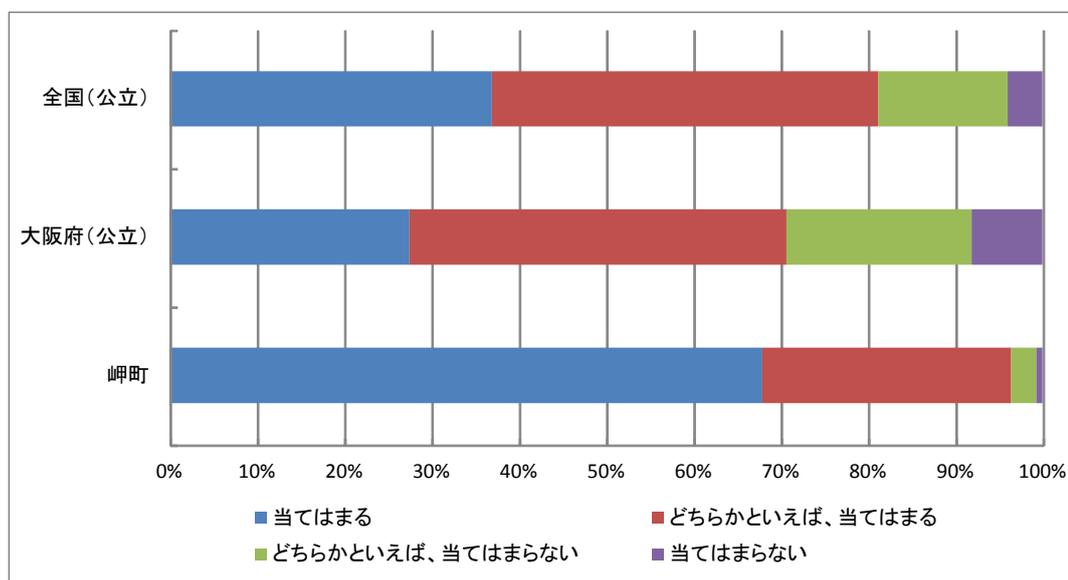
○中学校では「難しいとは思わない」「どちらかといえば、難しいとは思わない」の割合は76.7%であり、授業改善の取り組みの成果が見られる。

●小学校において「難しいとは思わない」「どちらかといえば、難しいとは思わない」の割合は61.3%だが、昨年度と比較して減少しており、今後とも授業改善を進めていく必要がある。

### 9、普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（小学校）



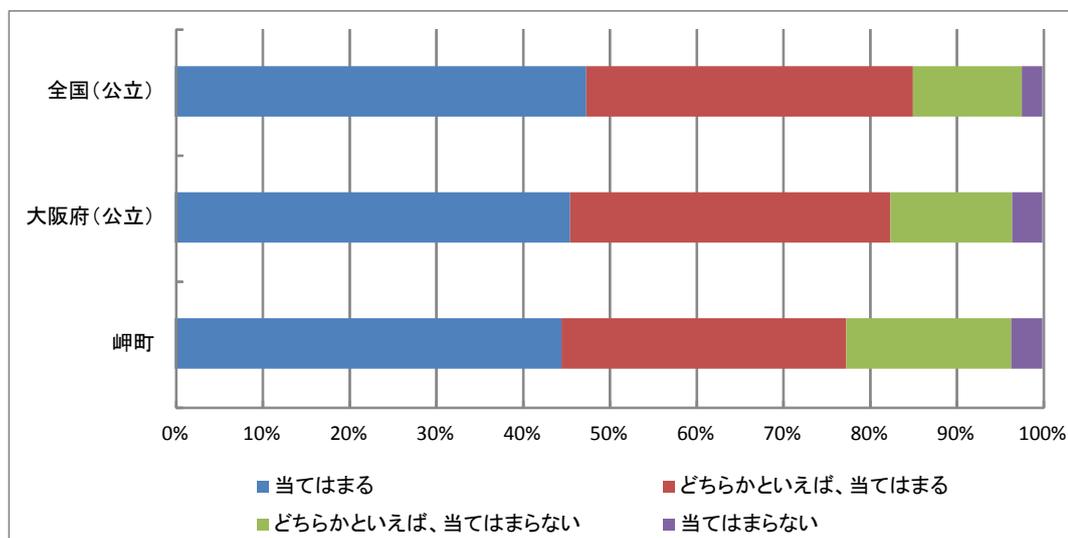
### 9、普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（中学校）



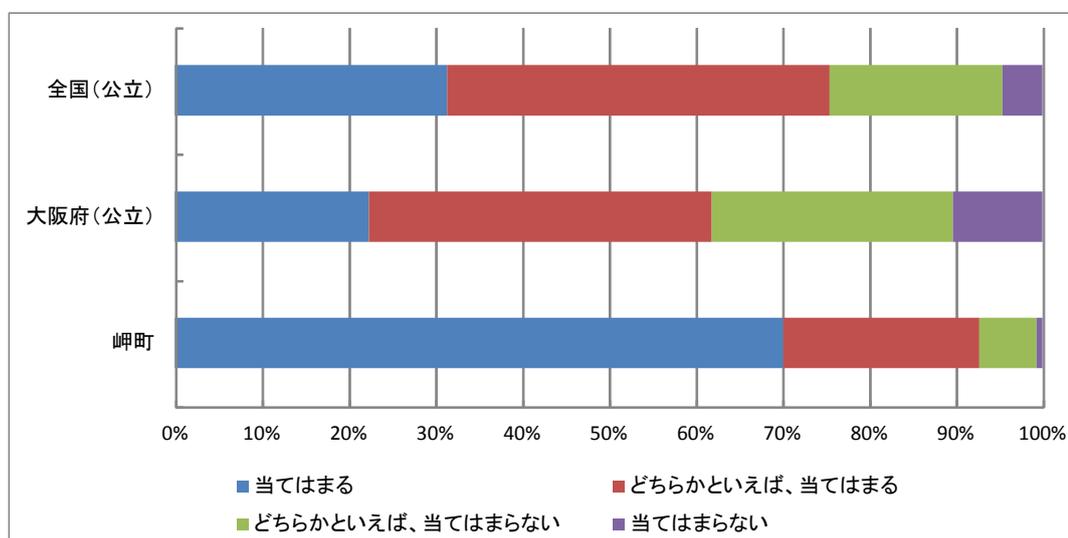
●小学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が78.1%であるが、府や全国と比較しても、より一層の授業改善に取り組む必要がある。

◎中学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が96.4%であり、昨年度同様に子どもたちの意見表明をおこなう機会が保障されている。

10, 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている  
と思いますか（小学校）



10, 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている  
と思いますか（中学校）



●小学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が77.3%であり、昨年度と比べて増加しているが、今後より一層の授業改善に取り組む必要がある。

◎中学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が92.7%であり、前年度と同様高く、言語活動が盛んにおこなわれているといえる。